

【消息 報告】

・林眞光修養生

昨日より沼津教会へ出向です。荻野倍
弘牧師の股関節の手術を受けて、聖日礼
拝と子ども集会での奉仕です。昨年、一
昨年と沼津教会では夏に奉仕をさせて頂
いています。今回も良き奉仕と交わりの
時となるようにお祈りください。

また、5月22日(日)にはインマヌエ
ル板橋教会で礼拝奉仕にあたります。
現在在学しているインマヌエル聖宣神学
院が5月は創立月ということで、インマ
ヌエル教会での奉仕依頼がありました。
シオン以外の教会・教団に触れる良い機
会と思います。お祈りください。

聖宣神学院の現在の在籍数は林修養生
を含めて4名ということで献身者興起が
大きな祈りの課題となっています。シオ
ンだけでなく日本の福音派諸教会から献
身者が興されるように私たちも祈りまし
よう。

・荻野泰弘牧師

先週は沼津シオンでの礼拝奉仕でした。
聖餐も共にすることができ、沼津シオン
の兄弟姉妹と主にある交わりの時が持て
ました。背後でのお祈りを感謝します。

【有志ボランティアによる無料食品配布
への寄付募集】

有志ボランティアによる無料食品配布
の実施に向けて、配布用の食品を募集し
ています。志のある方は教会へお届けく
ださるか、担当者までご連絡ください。

毎日曜日に教会玄関に回収箱を設置し
ています。ご協力よろしくお願ひします。

問い合わせ 山口光兄

No.6 2022・5・8

ですから、兄弟たち。主が来られる時まで耐え忍びなさい。見なさい。農夫
は大地の貴重な実りを、初めての雨や後の雨が降るまで耐え忍んで待っていま
す。あなたがたも耐え忍びなさい。心を強くしなさい。主が来られる時が近づ
いているからです。

ヤコブの手紙5章7、8節

私たちの人生には試練が伴います。日常
には多くの苦勞があります。思う通りに行
かずにつらく思うことがあります。時には、
他の人を見てうらやましく思うこともある
でしょう。

苦勞の多いこの世界で困難にめげずに進
むには耐える力が必要です。

困難に耐えるというと、日本人は我慢と
考えます。しかし、我慢とは自己中心な姿に
通じます。我慢の「慢」は高慢、慢心、傲慢

にも使われます。「慢」とは仏教の言葉で、
自己中心的な思い上がりの心を意味するの
だそうです。我慢は、ツライことを耐える心
と多くの人は捉えます。しかしもともとは、
強情になって自分に執着する様を現してい
ます。自分の我を通すために固執する姿と
言えるでしょうか。それは自分を貫くとい
うよりも、人の言葉に耳を傾けずに駄々を
こねる姿のように思えます。

聖書は私たちに忍耐の必要を説きます。

忍耐は希望の目が来ることを信じて耐え忍
ぶ姿です。それは、自分の力にだけ頼るので
はなく、自分の限界を認めて、他のものに信
頼する姿です。そこには傲慢や自己中心、わ
がままはありません。他の人と共に支え合
って生きる姿があります。

聖書は忍耐の模範として農夫を示します。
農業は一人ではできません。他の人と、そし
て天候との共同作業です。天の恵みによっ
て作物は育ちます。自分の力だけで良き実
は得られないことを農夫は知っています。

私たちが人生という農場で頼るべきはま
さに天。天の父なる神様です。

人生の困難を神に明け渡しましょう。自
分の計画を神に委ねましょう。神の導きに
任せるとき平安が訪れるのです。(泰)

5月8日 母の日礼拝

第1礼拝 9時 穂谷牧師 荻野し兄
第2礼拝 11時 荻野牧師 榎原姉

前奏

招詞 イザヤ書43章1節

会衆賛美 聖歌25(1〜4節)

会衆賛美 神の国と神の義を(1回)

主の祈り

交読 詩篇103篇1〜5節

礼拝祈禱

使徒信条

聖書朗読 ヤコブの手紙 5章1〜11節

説教 忍耐と希望

荻野泰弘牧師

会衆賛美 聖歌518(1〜4節)

献金

頌栄 聖歌376

祝祷

報告

感謝祈禱 奏樂

【招詞(主の招きのことば)】

イザヤ書43章1節

「恐れるな。わたしがあなたを贖ったからだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたは、わたしのもの。」アーメン

【本日の予定】

礼拝映像ネット配信

9時から

■礼拝後

・会堂清掃・礼拝堂イス拭き

・週報発送準備

■小学科ホザナ礼拝 10時30分

(オンライン併用)

お話 穂谷牧師

■午後のプログラム

・ダニエル会幹事会 3階

・霊修会実行委員会(オンライン) 15時30分

【本日の奉仕者】

■第1礼拝

礼拝祈禱 司会者

聖書朗読 司会者

献金1階 司会者

献金祈禱 司会者

報告 荻野牧師

受付 荻野牧師

配信 荻野恵行

■第2礼拝

礼拝祈禱 司会者

聖書朗読 司会者

献金1階 司会者

献金祈禱 司会者

報告 荻野牧師

会場 林 良男

受付 金川和子

【次週の礼拝説教】

出エジプト記3章1〜12節

説教 荻野泰弘牧師

■本日、母の日

クリスマスやイースターなど、教会由来で日本でも知られている記念日があります。母の日もその一つです。

母の日は、19世紀アメリカでアンナ・ジャービスというクリスチャン女性に、聖書にある「父と母を敬え」のことに従い、亡き母に感謝の思いを示すために記念会を催したことに始まります。

アンナの母親は、長い間、教会で日曜学校の教師を務めた敬虔なクリスチャンでした。娘のアンナに対しても熱心に聖書を教え、その人格教育に尽くしました。敬虔なクリスチャンとして成長したアンナは、母の死後、聖書の「あなたの父と母を敬え」(出エジプト記20章12節)の言葉に導かれ、亡き母への感謝の気持ちを表すために記念会を催しました。アンナの行為は多くの人の心を打ち、「母の日」という慣習として広まったのです。

「感謝の心を現す」ことは聖書の教えに沿い、人間関係を豊かにします。母に限らず感謝を示すことが、お互いの心を豊かにするのではないでしょうか。

■次週、取手シオン教会 会堂建築

アピール

次週15日は蒲田礼拝に取手シオンの会堂建築委員3名が来られます。建築についての報告と献金・シオン債のアピールがあります。

*取手シオン会堂建築状況(取手シオン週報より)

・仮会堂での礼拝開始
5月1日より、取手駅西口にあるビルの一室を借りて礼拝と祈禱会が行われています。

・引越し作業
ゴールデンウイークに教会荷物の運び出しや牧師の引越しが行われました。

・各教会訪問

4月末より各シオンを巡りアピールが行われています。

・5月中に着工しアドベントまでには完成の予定です。お祈りください。

【新型コロナウイルス関連】

■礼拝式について

礼拝堂での出席を希望される方は、事前の申し込みをお願いします。

*事前申し込みについて 礼拝出席者数を事前に把握したいので、お申し込みをお願い致します。

・連絡方法

教会ホームページ・メール・FAX・電話(電話は朝10時〜夕5時)

教会ホームページの専用ページより申し込みます。

〈教会員向け〉↓パスワード入力
↓(会堂礼拝事前登録)で必要項目を入力する

・礼拝堂で出席の場合はマスク着用、手指消毒のご協力をお願いします。

・体調が優れない方は出席を控えてください。

・ご不明な点はお問い合わせ下さい。